

世界史B

第1問 問4・5

歴史上の出来事に関連する根拠を推測する問題

藤田：次の資料は、顔之推が6世紀後半に著した『顔氏家訓』という書物の一節で、彼が見た分裂時代の女性の境遇について述べています。

資料：顔之推『顔氏家訓』
(著作権の都合により非掲載)

山口：中国には、「**牝鶏が朝に鳴く**」ということわざがあり、女性が国や家の事に口出しするのは禁忌であったと聞きます。資料の後半に書かれているように、女性が活発な状況が現れた背景は、いったい何でしょうか。

藤田：著者の推測に基づくなら、**イ**に由来すると考えられます。

中村：あっ！ ひょっとして、この時代の北方の状況が、中国に女性皇帝が出現する背景となったのでしょうか。

教授：中村さんがそのように考える根拠は何ですか。

中村：ええと、それは**ウ**からです。

教授：ほう、よく知っていますね。

問4 文章中の空欄**イ**に入れる語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **4**

- ① 西晋を滅ぼした匈奴の風習
- ② 北魏を建国した鮮卑の風習
- ③ 貴族が主導した六朝文化
- ④ 隋による南北統一

問5 文章中の空欄**ウ**に入れる文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **5**

- ① 唐を建てた一族が、北朝の出身であった
- ② 唐で、政治の担い手が、古い家柄の貴族から科擧官僚へ移った
- ③ 隋の大運河の完成によって、江南が華北に結び付けられた
- ④ 北魏で、都が洛陽へと移され、漢化政策が実施された

出題の特徴

資料から読み取れる南北分裂時代の北方の状況から、その後の中国に女性皇帝が出現した背景だと考えられる根拠を推測する問題でした。まず問4で北方の女性が活発な背景に「北魏を建国した鮮卑の風習」があることを会話文や資料から想起し、その北方民族や北朝の風習が、その後の統一王朝になぜ影響を与えたのかを推測する力が求められました。

指導のご提案

本問では、設問の意図に沿って資料を読み取り、歴史上の出来事の因果関係を想起することが求められました。日頃から資料の読解問題に触れる機会を増やし、解答に必要な情報を正確に収集する力、そして事象相互のつながり着目し、関連づけて考察する力を身につけましょう。なお、正確な知識の把握が正解を導くための前提となりますので、基本事項の定着にも取り組みましょう。

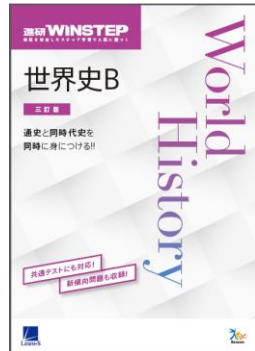
2023年度大学入学共通テスト

「世界史B」

受験者数： 78,168人
平均点： 58.43点
標準偏差： 20.30

教材のご紹介

教材のご紹介…「進研WINSTEP 世界史B [三訂版]」

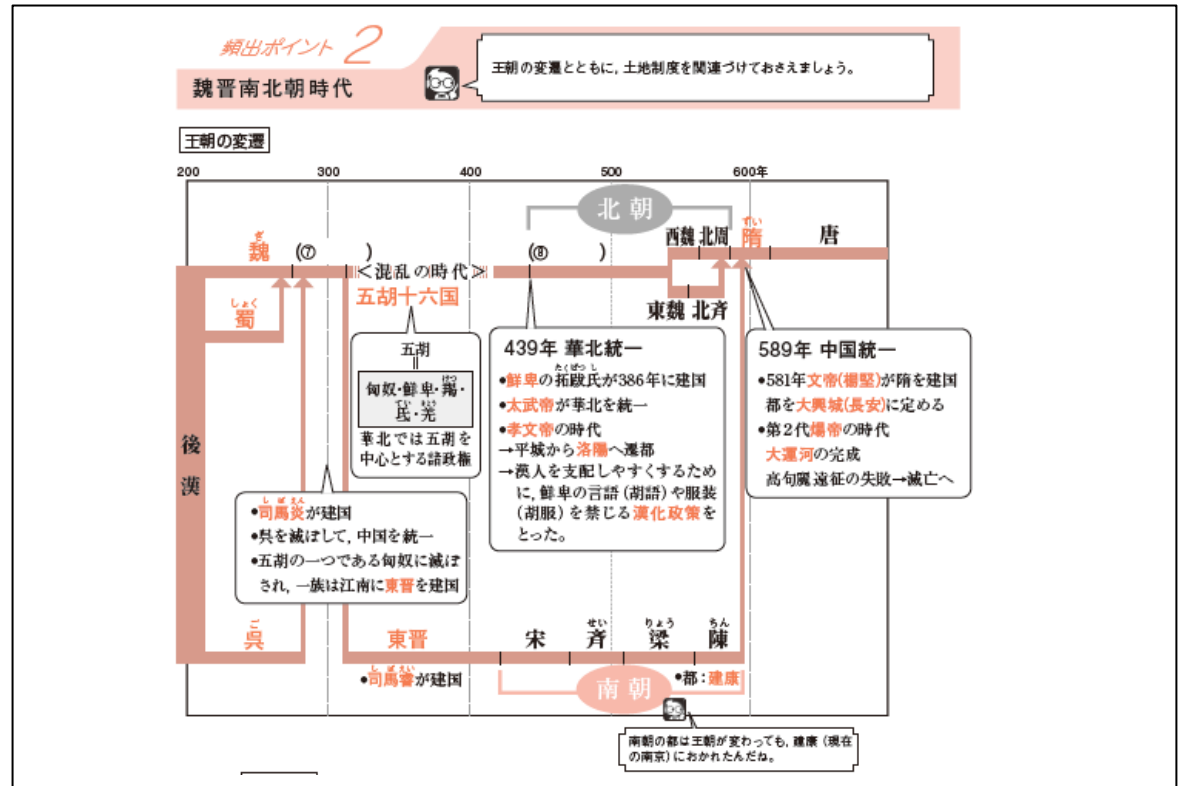


定価 980円 (税込み)

活用できる知識を習得し、解答する力を身につける

中国史において、王朝の変遷やその特徴、また相互の関連は、必ずおさえておきたい基本事項です。第1問問5は根拠を推察する問題ですが、その前提には、正確な知識が必要となります。WINSTEP世界史Bでは、その前提となる知識を、図示により視覚的に学習できます。

歴史上の出来事が関連する根拠を推測する問題



入試頻出の知識を「使える状態」に整理し、3年生2学期からの本格的な実践演習へ

「2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 世界史B」(2023年6月発刊)